

「すべての人を照らす光」  
聖書箇所：ヨハネの福音書1章6~13節

---

**【1】 ヨハネ、光について証しする**

- ・バプテスマのヨハネの役割
  - 「後に来られる方」を指し示すこと
- ・人々の期待に対するヨハネの反応
  - 「私はキリストではありません」(ヨハネ 1:20)
- ・「証しする」(マルテュロ-)とは

**【2】 すべての人を照らす光**

- ・ヨハネが証しした「光」とは
  - 人としてこの「世」に来られたイエス・キリスト
- ・「光」に対する「世」の反応
  - 「…この方を知らなかった…この方を受け入れなかった」(ヨハネ 1:10)
- ・「世」(コスμος)とは
  - 神に造られた世界と人間
  - キリストに敵対するものとなった「世」
  - 神のさばきの対象となった「世」(参照ヨハネ 7:7,12:31)
- ・「世」を愛された神
  - さばきから救うためにキリストを世に遣わされた(ヨハネ 3:16~17,12:47)
- ・「罪ある目」の現実
  - 讃美歌 66 番 2 節から  
「聖なる、聖なる、聖なるかな、罪ある目には 見えねども、みいつくしみの満ちたれる 神のさかえぞ たぐいなき。」

**【3】 しかしこの方を受け入れた人々**

- ・「まことの光」であるキリストを受け入れた人々とは
  - 「神によって生まれた」(ヨハネ 1:13)人々
  - 自分の状態を知らされ/自分を照らすために来られた方を「まことの光」と信じ/受け入れた人々

▷誰であっても、「暗闇の中でさまよう私の心をまことの光によって照らしてください」と神に祈り願うことができます。キリストはすべての人を照らすまことの光なのです。

